

令和7年度第1回学会雑誌編集委員会議事録

日時：令和7年7月16日（水）21：00～22：00

場所：ウェブ会議

出席者：副理事長 五味渕聡志

担当理事 鮫島弘武、金藤 直樹

委員長 立入久和

副委員長 今村恵一郎、山口眞一

委員 竹林庸雄、田村康樹、佐野博繁、權藤 宏、宗廣鉄平、新谷 健

欠席者：なし

理事会審議付帯事項：

特になし。

委員会決議事項：

1. 抄録の取扱いについて

- (1) 令和7年2月、米国企業 The Research Investment から、第37回 JCOA 学術集会（熊本）における抄録の複製依頼があったが、抄録の著作権について明示されていないため、学術委員会にてこれを断った。
- (2) その後、学術委員会は、定款委員会に抄録の著作権について確認を行い、本委員会に対しても著作権の取扱いについて検討の依頼を行った。
- (3) 検討の結果、本委員会としては、抄録の著作権の取扱いについては、各団体の動向を見極めたうえで判断することとし、現時点では保留とした。

2. 日臨整誌の論文投稿における AI 使用について

AI 使用に関する注意喚起を行うとともに、他団体の動向を注視しつつ、今後、本委員会として投稿規程集への反映を進めていく方針とした。

3. 第38回 JCOA 学術集会（三重）について

- (1) 投稿促進のため、幕間スライドを使用することとした。
投稿は JCOA ウェブサイト又は学術集会サイトのバナーから行う旨を案内する。
- (2) 学術集会発表演題論文の投稿期限は、令和7年8月31日とした。

4. 次回委員会の開催について

令和7年11月から同年12月頃に対面形式で開催する予定とした。

委員会報告事項：

1. 雑誌第121号について

- (1) 雑誌第121号は、令和7年6月30日に発行し、会員への発送は令和7年7月末を予定している。
- (2) 国際化プロジェクト論文、和文一般論文、学術集会発表演題論文の投稿状況を確認した。
- (3) 日臨整誌特集シンポジウム「整形外科最新の保存療法」は、4演題を予定してい

たが、投稿者は1名のみであった。

シンポジスト（敬称略）：

成尾政一郎（辞退）、鬼木泰成（受理）、大森弘則（辞退）、高橋 周（辞退）

2. 投稿規程及び本委員会の内規等について

資料に基づき、次について確認された。

- (1) 投稿規程集
- (2) 投稿論文業務分担（国際化プロジェクト論文・和文一般論文）
- (3) 投稿論文業務分担
- (4) 主な変更点
 - ・ 表紙（別紙第1）：学術集会発表演題論文の投稿にも表紙を必須とした。
 - ・ 要旨：すべての論文の要旨を査読システムに組み込むよう変更した。
 - ・ 査読委員の変更：7日以内に応答がない場合は次の査読委員に依頼した。ただし、システム上では自動変更ができないと業者から回答があった。
 - ・ 第38回JCOA学術集会（三重）における査読順を確認した。

3. 第38回学術集会（三重）における日臨整誌特集シンポジウムについて

- (1) 雑誌第122号の特集シンポジウムは「シンポジウム10【最新の人工関節治療】」に決定したことが報告された。
- (2) シンポジウム10：最新の人工関節治療
 - ・ 演題1：最新の人工膝関節の設置角度の考え方
岡村直樹 先生（桑名市総合医療センター 整形外科・リウマチ科）
 - ・ 演題2：AR CT-based ナビゲーション HoloNavi One を用いた THA における脚延長量とオフセット変化量の精度評価
吉田格之進 先生（伊勢市立伊勢総合病院 整形外科）
 - ・ 演題3：コンピューター支援技術を用いた THA
内藤陽平 先生（三重大学大学院 医学系研究科 整形外科）
 - ・ 演題4：コンピューター支援技術を用いた人工膝関節置換術
刀根慎恵 先生（三重大学大学院 医学系研究科 整形外科）

4. オンライン投稿査読システムの不具合について

次の4件の不具合が確認され、委託先の一ツ橋印刷に嚴重注意を行った。

- (1) 査読委員情報：辞退者が名簿から削除されておらず誤って依頼が送信された。
対象会員に謝罪し、代替委員を選出のうえ名簿は修正済み。
- (2) 査読委員選任依頼メール：旧メール文が使用されていたため、修正を申し入れた。
現在は対応済み。
- (3) 投稿締切設定：締切後も投稿が可能となっていたため、締切厳守を指示した。
- (4) 査読システム内メール：担当編集委員名で送信されていたため、匿名処理への変更を指示した。
現在は修正済み。